

平成27年度 学校教育自己診断アンケートの結果・考察・課題

はじめに

今年度も、保護者の皆様、児童、教職員に学校教育自己診断アンケートを実施いたしました。

保護者の皆様には、ご多用の中、アンケートにご協力いただきありがとうございます。84.7%の保護者の方からご協力いただきました。

集計したアンケートの結果をお知らせします。

グラフは上に昨年度、下に今年度の結果を掲載しています。

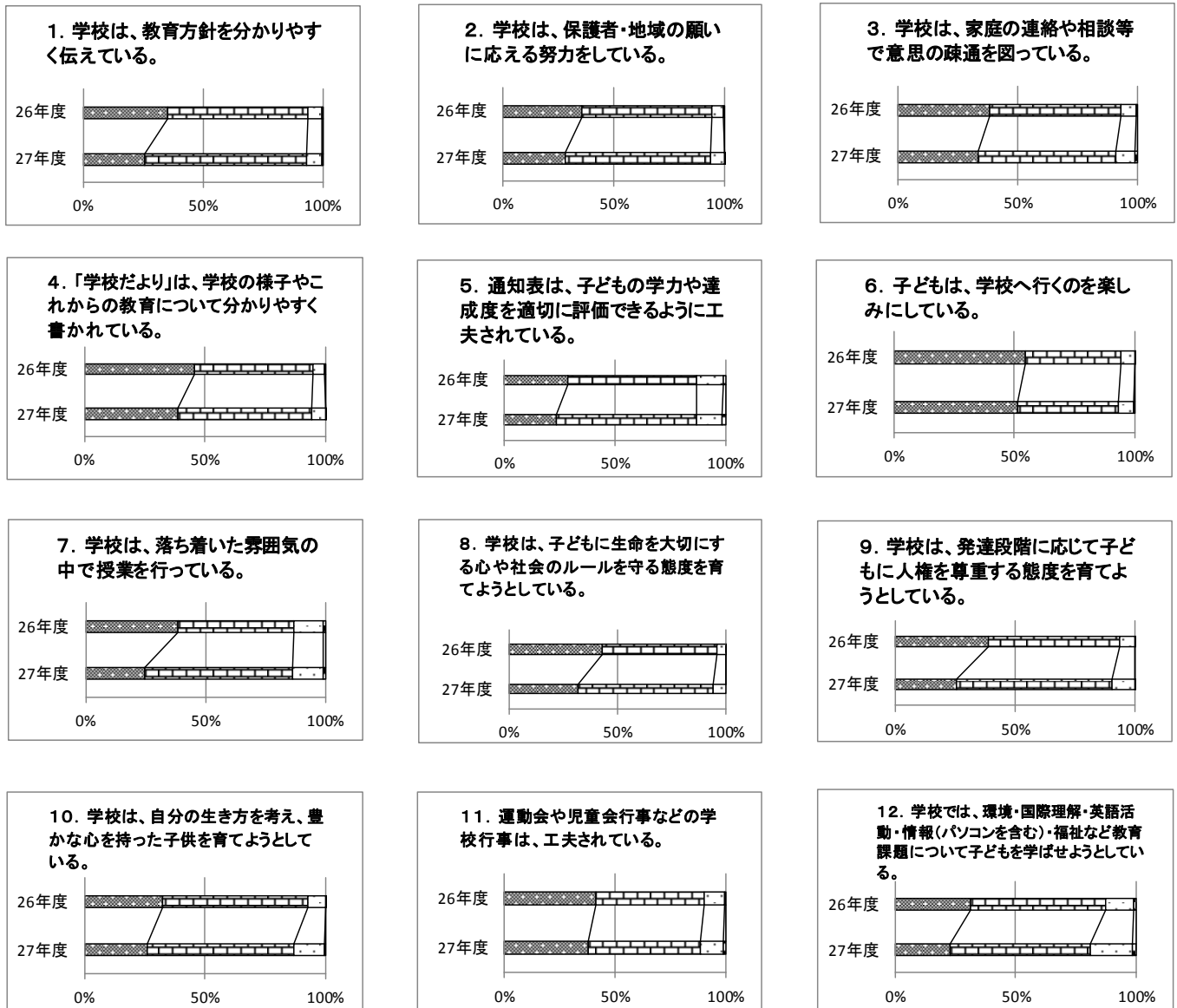
皆様から頂いた貴重なご意見を今後の学校改善に活かしていく所存です。

今後ともよろしく願いいたします。

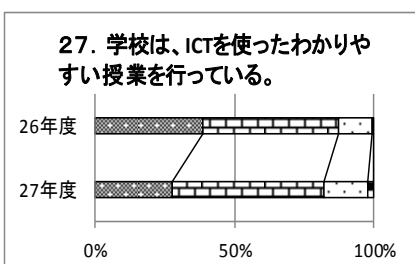
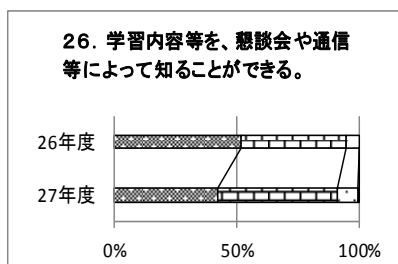
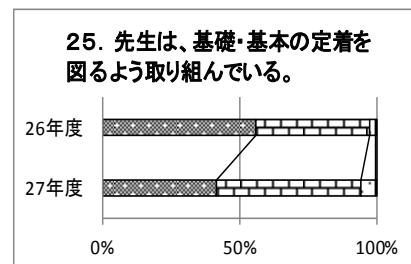
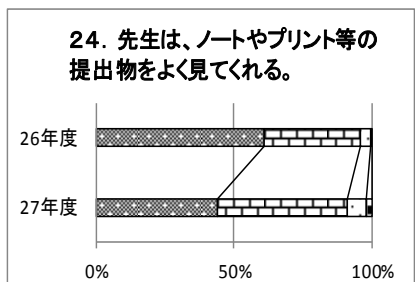
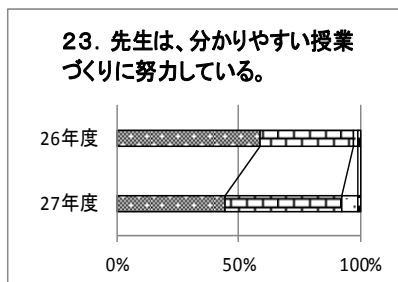
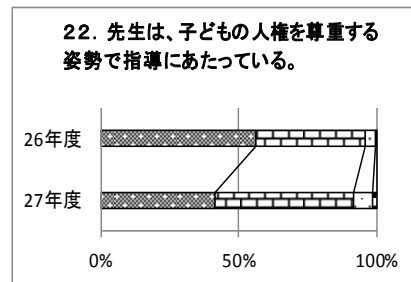
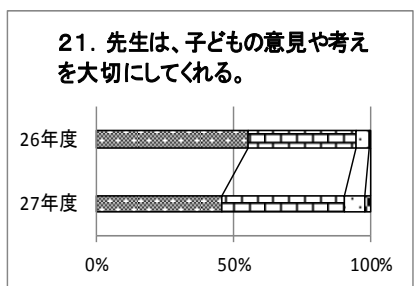
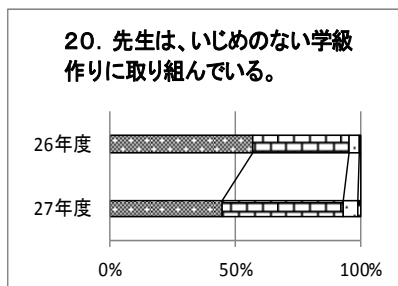
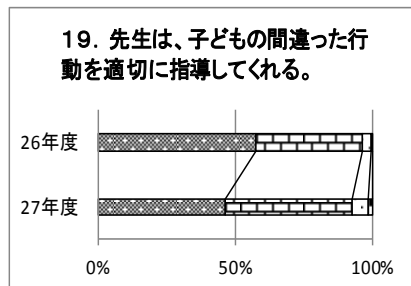
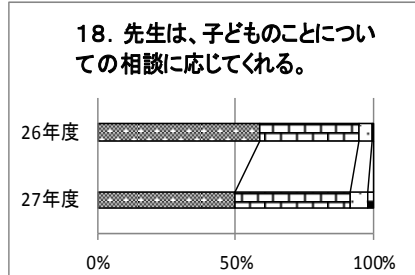
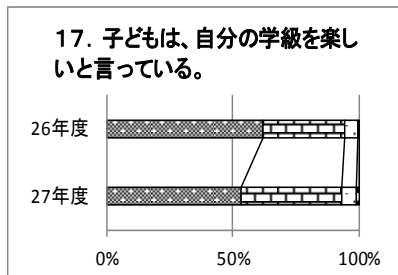
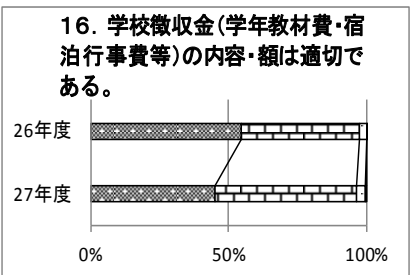
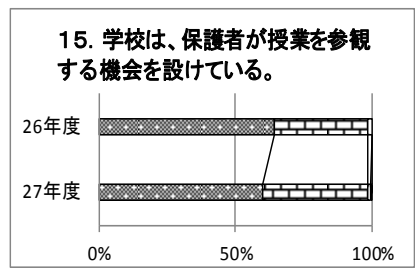
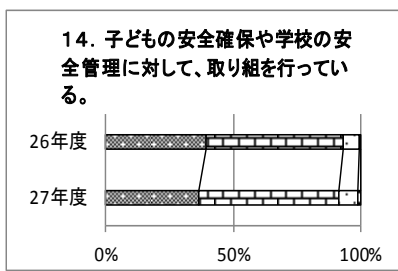
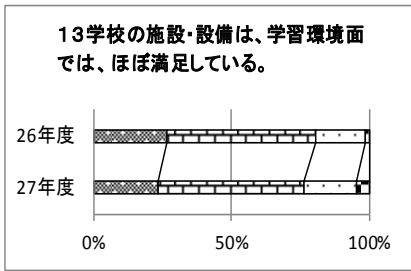
平成28年2月 枚方市立藤阪小学校 校長 中野 恵永子

保護者アンケートより

凡例  ◎よくあてはまる  ○ややあてはまる  △あまりあてはまらない  ×まったくあてはまらない

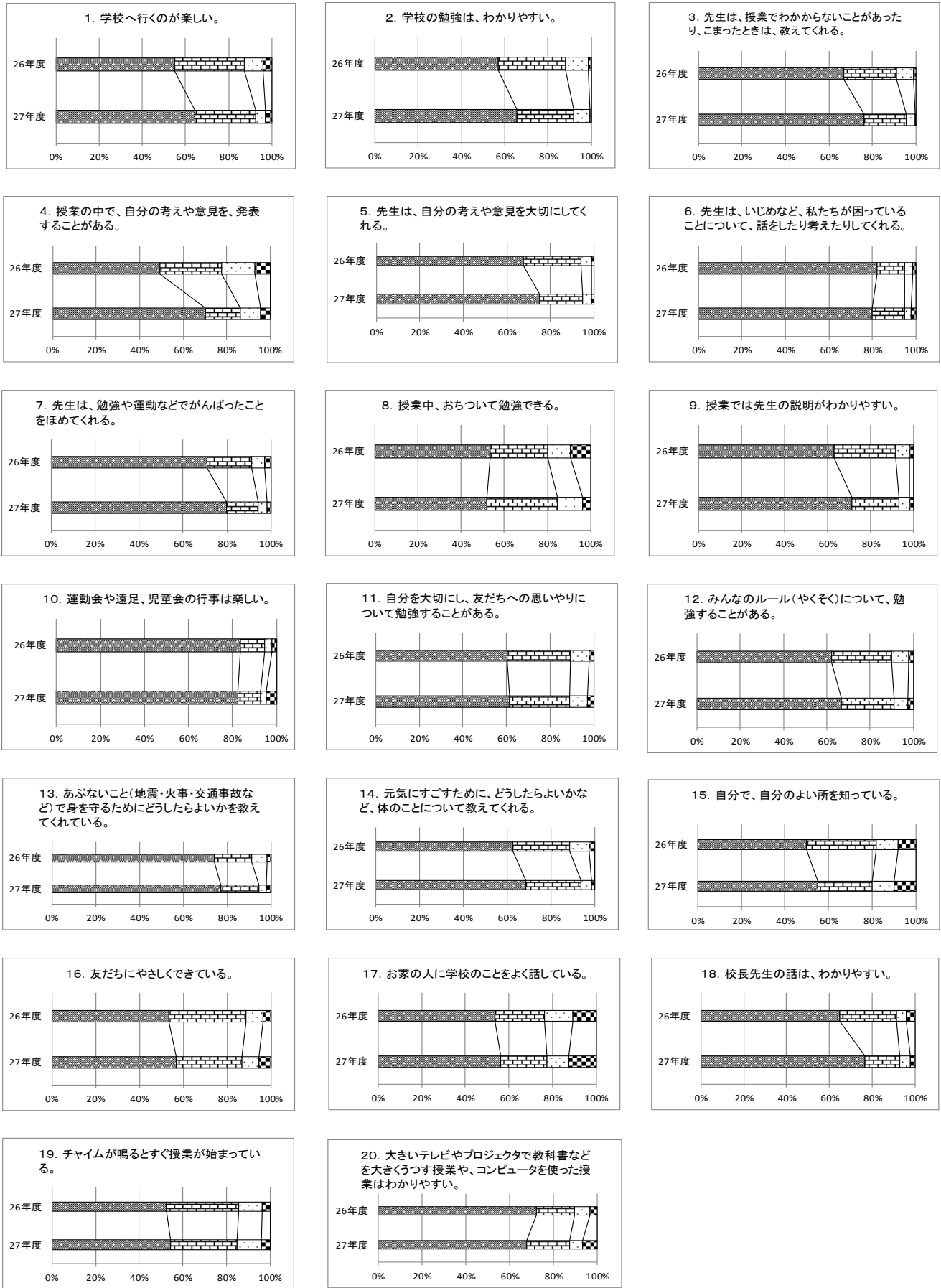


凡例  ◎よくあてはまる  ○ややあてはまる  △あまりあてはまらない  ×まったくあてはまらない



児童低学年アンケートより

凡例 ◎よくあてはまる ○ややあてはまる △あまりあてはまらない ×まったくあてはまらない



児童高学年アンケートより

凡例



◎よくあてはまる



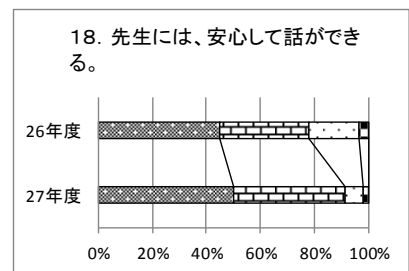
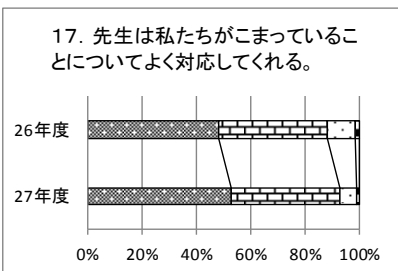
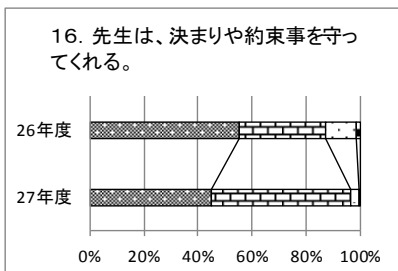
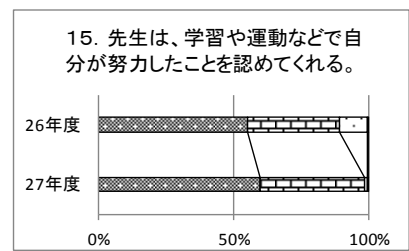
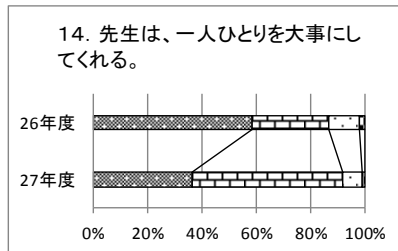
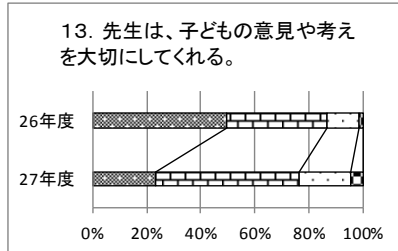
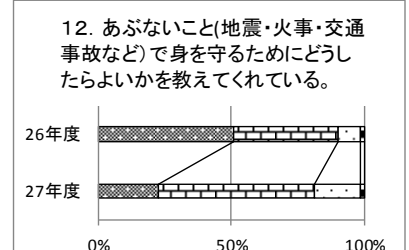
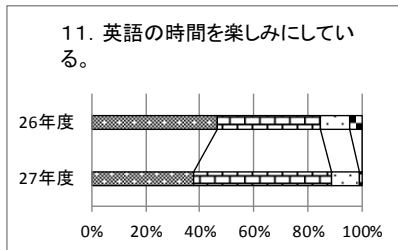
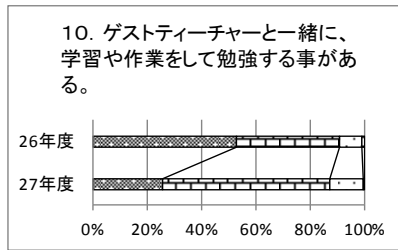
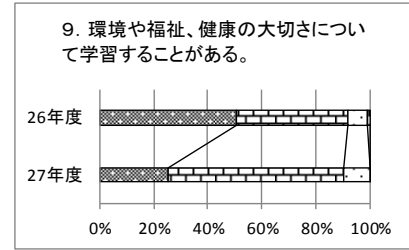
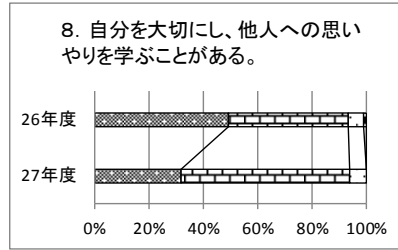
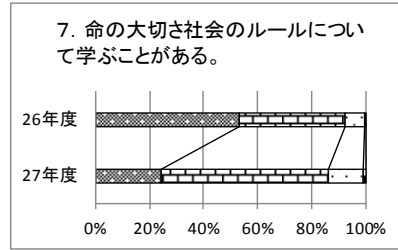
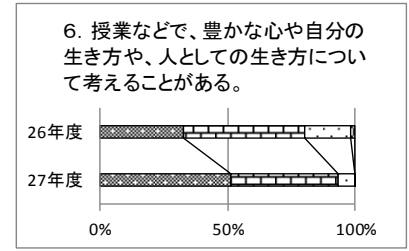
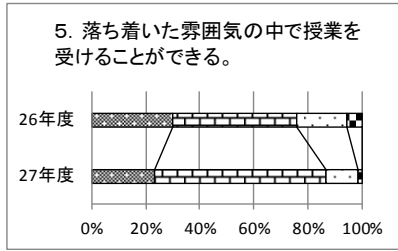
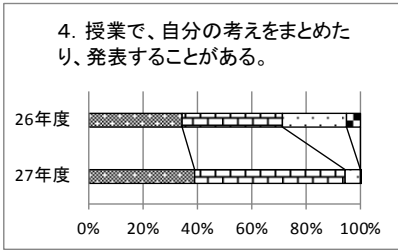
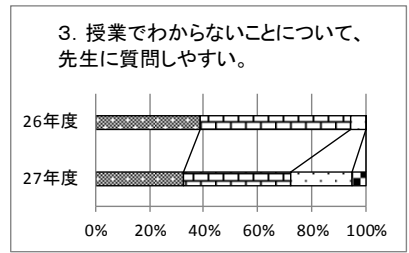
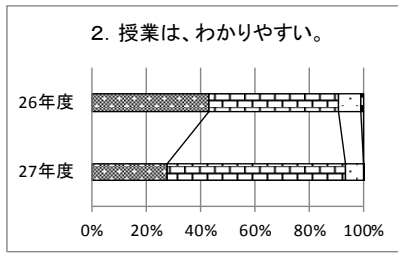
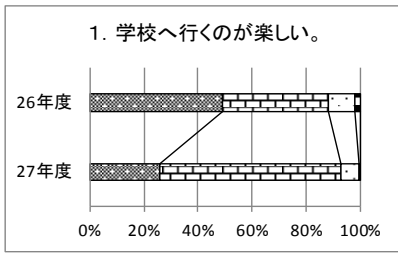
○ややあてはまる



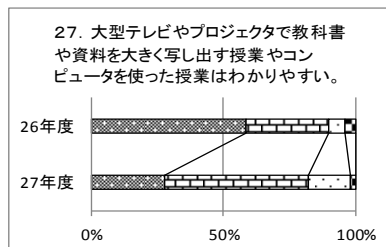
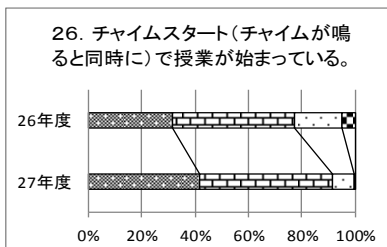
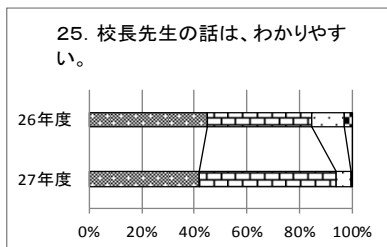
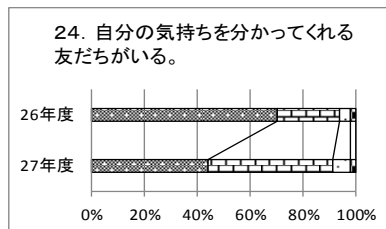
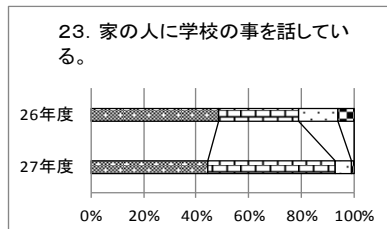
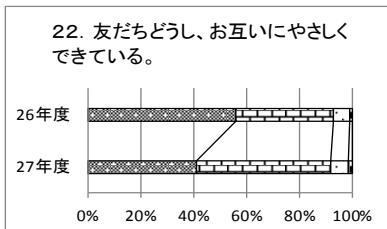
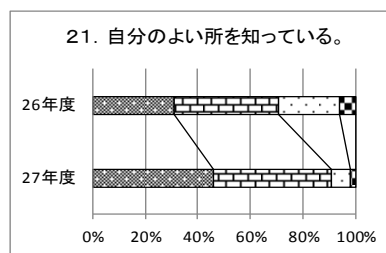
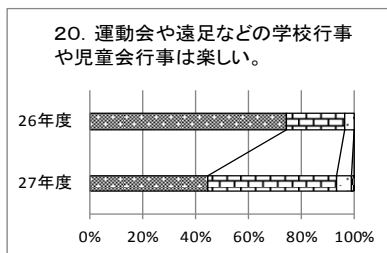
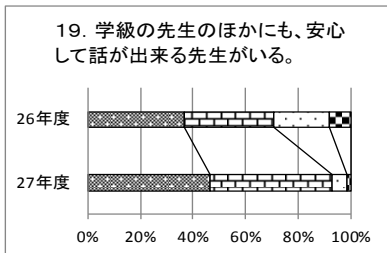
△あまりあてはまらない



×まったくあてはまらない



凡例 ◎よくあてはまる ○ややあてはまる △あまりあてはまらない ×まったくあてはまらない



アンケートからの考察

【保護者】

昨年度と比較して、「◎よくあてはまる」「○ややあてはまる」の肯定的評価の合計がほぼすべて下回っていました。上回っていたのは、「学校は、保護者が授業を参観する機会を設けている」のみでした。

一番大きく下回った項目は、「学校では、環境・国際理解・英語活動・情報（パソコンを含む）・福祉など新しい教育課題について子どもを学ばせようとしている。」でした。（6ポイント減）その他、「学校は、自分の生き方を考え、豊かな心を持った子どもを育てようとしている。」「学校は、ICTを使ったわかりやすい授業をしている。」も5ポイント以上下回っていました。

また、全体的に「◎よくあてはまる」の割合が昨年度より減っていました。この結果を真摯に受け止めたいと考えています。

ある学年で特に取り組んでいるため他学年の保護者の方にわかりにくいこともあるかと思いますので、学校での様子がよくわかるようにさらに情報発信していきます。ICTについては、枚方市教育委員会が順次コンピュータ室内パソコンの入れ替えを計画しています。今はコンピュータ教室に行かないと児童はパソコンに触れられない環境です。教室には、教材提示装置といって、教科書やノートをテレビに写すものしかありません。しかし、今ある機器や予算内で購入できる機器を使いながら、わかりやすい授業に努めていきます。

また、授業改善のみならず、教員の児童理解力の向上にも努め、児童が充実した学校生活を送り、社会人としての基礎を築いていけるよう力を注いでいきます。

【児童】

・高学年

昨年度と比較して、「◎よくあてはまる」「○ややあてはまる」の肯定的評価が、10ポイント以上増加した項目が、「授業で、自分の考えをまとめたり、発表することがある」(23.1ポイント)「学級の先生のほかにも、安心して話ができる先生がいる」(22ポイント)「授業でわからないことについて、先生に質問しやすい」(18.6ポイント)「チャイムスタートで授業が始まっている」(13.9ポイント)「家の人に学校のことを話している」(13.5ポイント)「先生には、安心して話ができる」(13.4ポイント)「授業などで、豊かな心や自分の生き方や、人としての生き方について考えることがある」(13.2ポイント)「落ちついた雰囲気の中で授業を受けることができる」(11.2ポイント)の8項目でした。

反対に、5ポイント以上減った項目は、「先生は、子どもの意見や考えを大切にしてくれる」(10.4ポイント)「あぶないことで身を守るためにどうしたらよいかを教えてくれている。」(8.8ポイント)「命の大切さ社会のルールについて学ぶことがある」(5.6ポイント)の3項目でした。

・低学年

「◎よくあてはまる」「○ややあてはまる」の肯定的評価が8割以上がほとんどで、9割以上ある項目も多くありました。

昨年度と比較して、「◎よくあてはまる」「○ややあてはまる」の肯定的評価が、5ポイント以上増加した項目が、「授業の中で、自分の考えや意見を、発表することがある」(8.5ポイント)「元気に過ごすため、どうしたらよいかなど、体のことについて教えてくれる」(5.5ポイント)「学校に行くのが楽しい」(5.1ポイント)の3項目でした。

反対に減った項目が6項目ありましたが、すべて2ポイント以下でした。

今年度校内研修で「伝える力を育てる」ことを研究し、授業の中で「考えること」「話すこと」の活動を多く設定してきたことが身についてきたと考えられます。また、昨年度まで道徳教育の研究をしてきましたが、平成30年度に「特別の教科 道徳」が全面実施されることから、引き続き「考え、論議する道徳」に向けて研究をしてきました。その成果も表れてきたと考えます。

ご家庭におかれましても、児童から学校の様子を聞いていただき、ありがとうございます。

ご家庭との連携を密に取りながら、来年度は、さらに「考える」「書く」「話す」活動を充実させ、児童のコミュニケーション能力を育成していきます。